

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
2022年度 関東ブロック第3回ワークショップ

AIのビジネス活用に求められるポイント ～AIビジネス大全～

日本電気株式会社
AI・アナリティクス事業統括部
秋元 一郎



秋元 一郎 AKIMOTO ICHIROU

デジタルビジネスプラットフォーム ユニット
AI・アナリティクス事業統括部
AIビジネスイノベーションセンター センター長

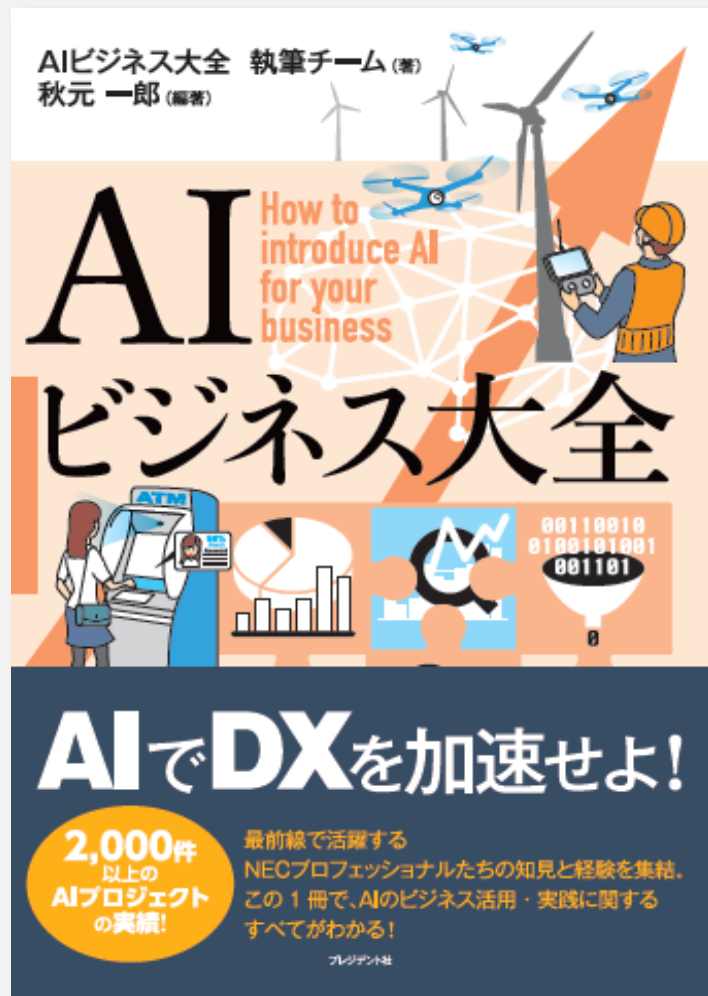
経歴・プロフィール

- 98年 NEC入社:ネットワークSE、ISPオペレータ、M&A業務
- 06-09年
現NEC Corporation of America (北米) 赴任
 - シリコンバレー:スタートアップとの協業推進
 - ダラス:北米事業開拓
- 14年 現NEC データサイエンス研究所 AI研究・事業開発
- 17年- 現AI・アナリティクス事業統括部 AIビジネス開拓グループ
コンサルティングなどによるAI事業開発やAI-SL開発を推進
- 20年- 世界経済フォーラム 第四次産業革命センター フェロー兼務
- 22年- AIビジネスイノベーションセンター センター長

AIビジネス大全

これからAIを導入する企業はもちろん、すでに導入している企業にも

週間ランキング 23年1月8日～14日
総合 1位 (紀伊国屋 新宿本店)
和書ビジネス部門 1位
(紀伊国屋全店)



最前線で活躍するNECプロフェッショナル36名が集結 AIビジネス活用についてのA to Zを余すところなく解説!

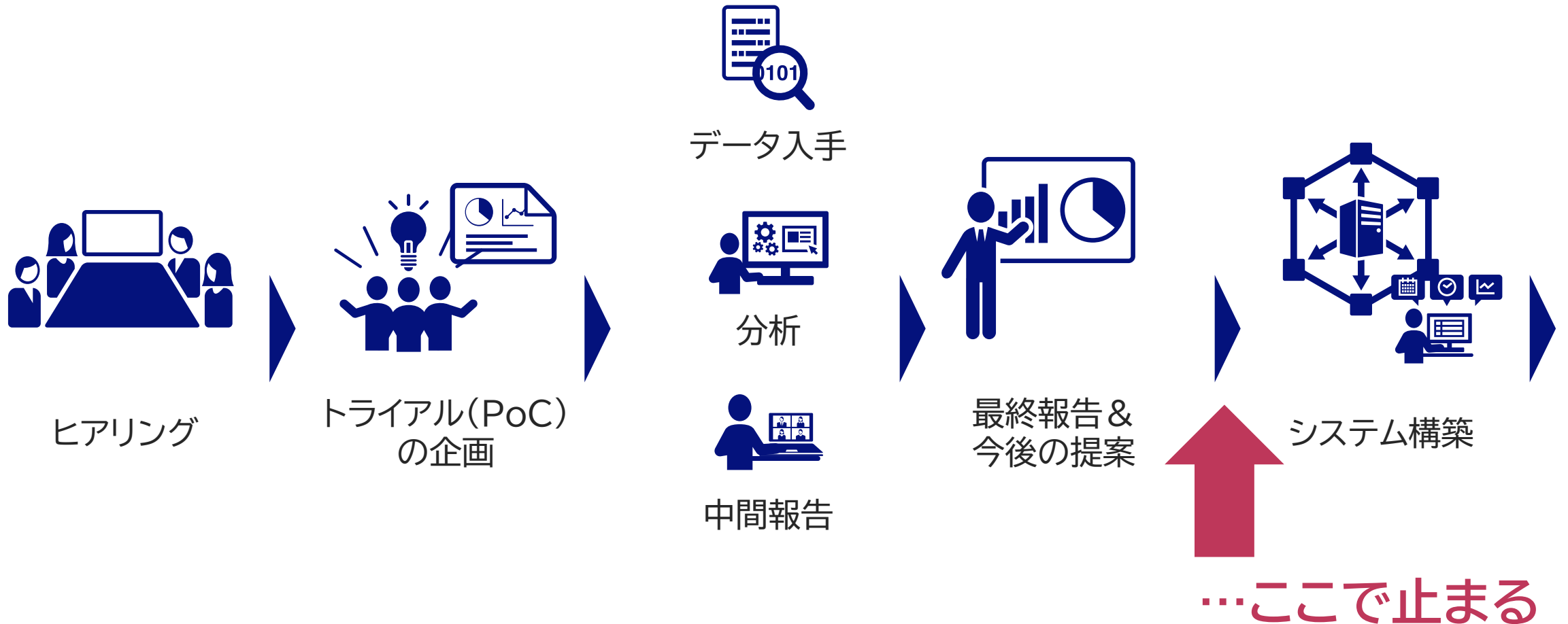
- 国内外の導入企業事例から、AI人材育成/組織文化醸成までAIをビジネスで利用するための知識、ノウハウを網羅
- 2,000件以上のAIプロジェクトの実績を踏まえ失敗しないAI企画の進め方、AIシステム導入の勘所を伝授
- 最先端技術が生み出す未来のAI活用シーン、AI・データを活用する企業が知らなくてはならない倫理・ガバナンスについて解説

AIビジネス大全 秋元一郎+AIビジネス大全執筆チーム (著)

- 第1章：AIが加速するデジタルトランスフォーメーション
- 第2章：AI・データ利活用の検討プロセス
- 第3章：AIシステムの検証と導入
- 第4章：組織としてのAI・データ利活用の推進・検討
- 第5章：さらなるAIの活用に向けて

プレジデント社 販売中 定価：2500円

AIビジネスの進み方



なぜ止まるのか？

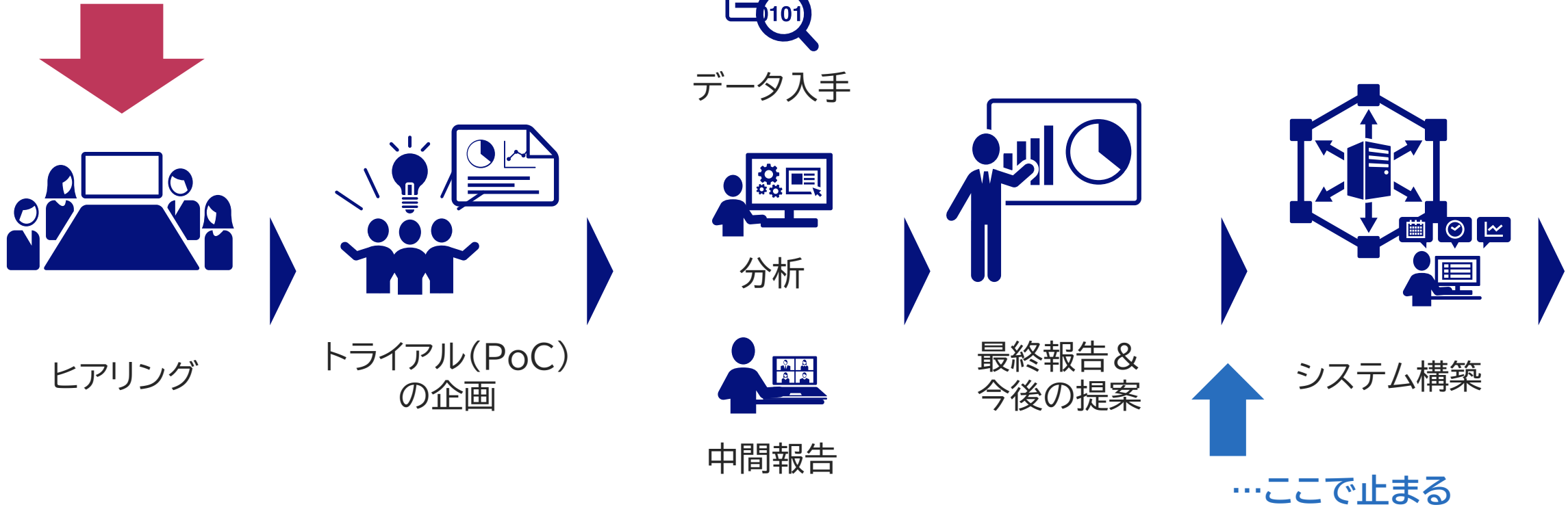
トライアル(PoC)企画、
中間報告
で整合可能

1. ビジネス価値が出ない⇨期待値との乖離
2. 分析精度がでない⇨効果が想定より低い
3. 関係者との合意形成ができていない
4. リソース不足(主に予算)
5. 組織としての方針変更

大きな視点で
捉えないと
対応できない

大きな視点は、いつ話すべきなのか？

ここで話す必要がある
≡ビジネスの議論



議論例①. メタバーズでの遠隔支援と点検現場業務

メタバーズ空間での点検（管理者）



管理者



オフィス

作業状況(位置・方向・映像・会話)



作業指示(資料・会話)

ARによる現地作業者の位置把握（作業者）



現場作業者の位置・方向検出



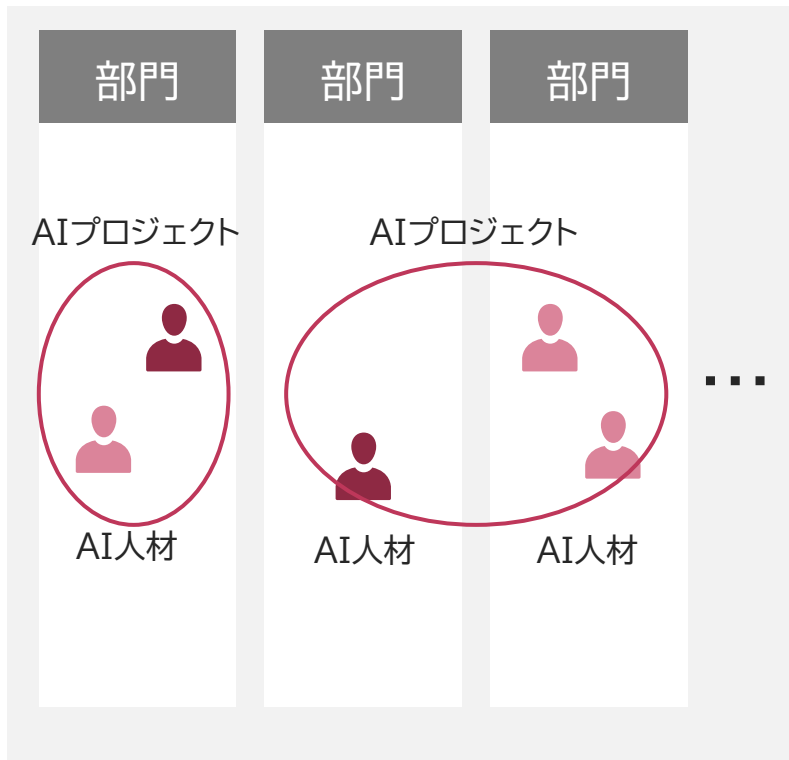
作業者



現場

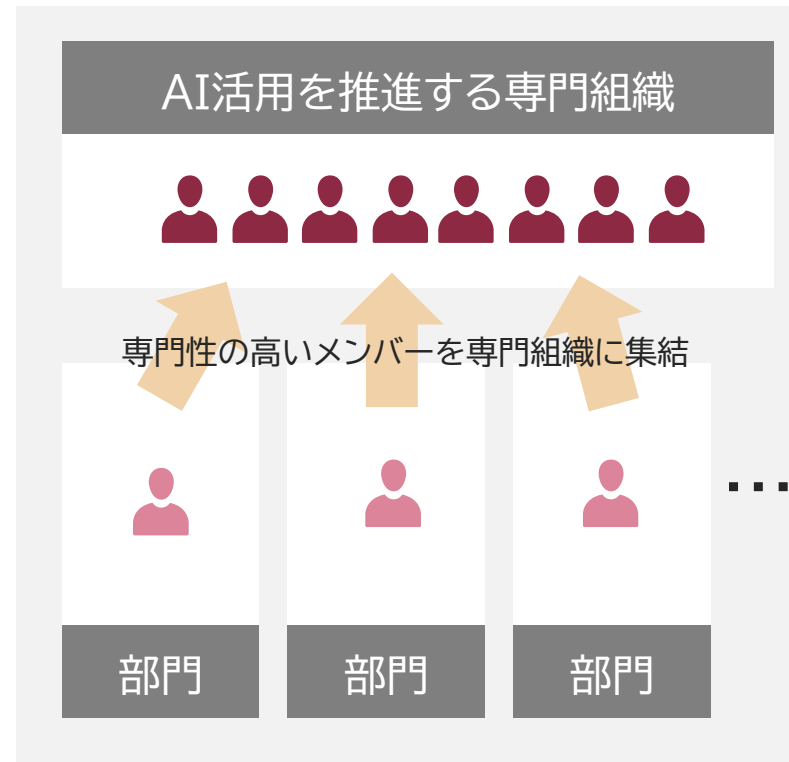
議論例②. AIを活用する組織構成のステップ

黎明期



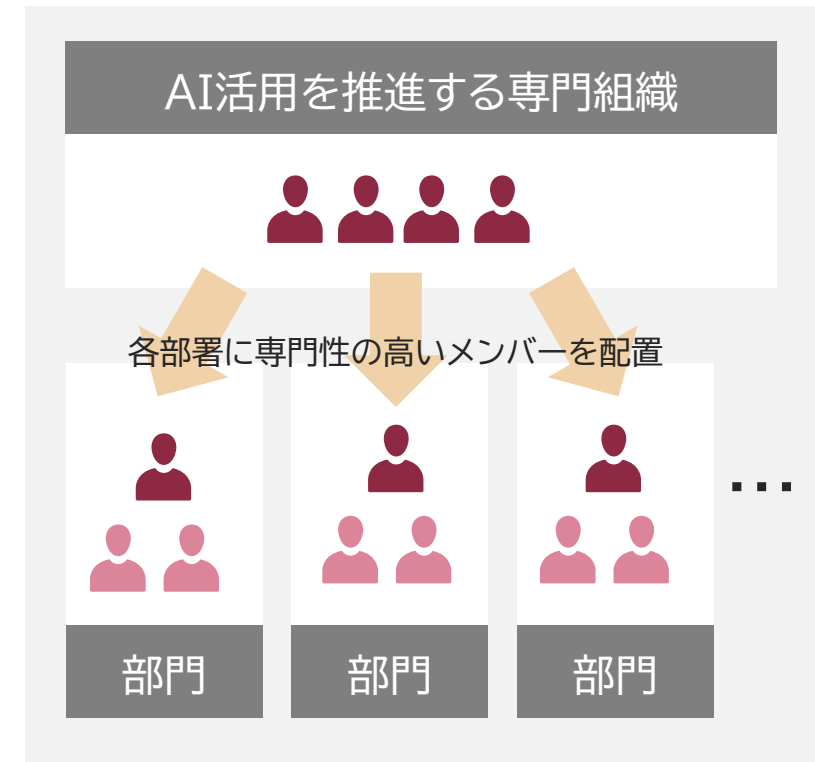
- ・特定の部門/部署で実験的にAIプロジェクトを実施
- ・AI人材は各部門に点在

発展期



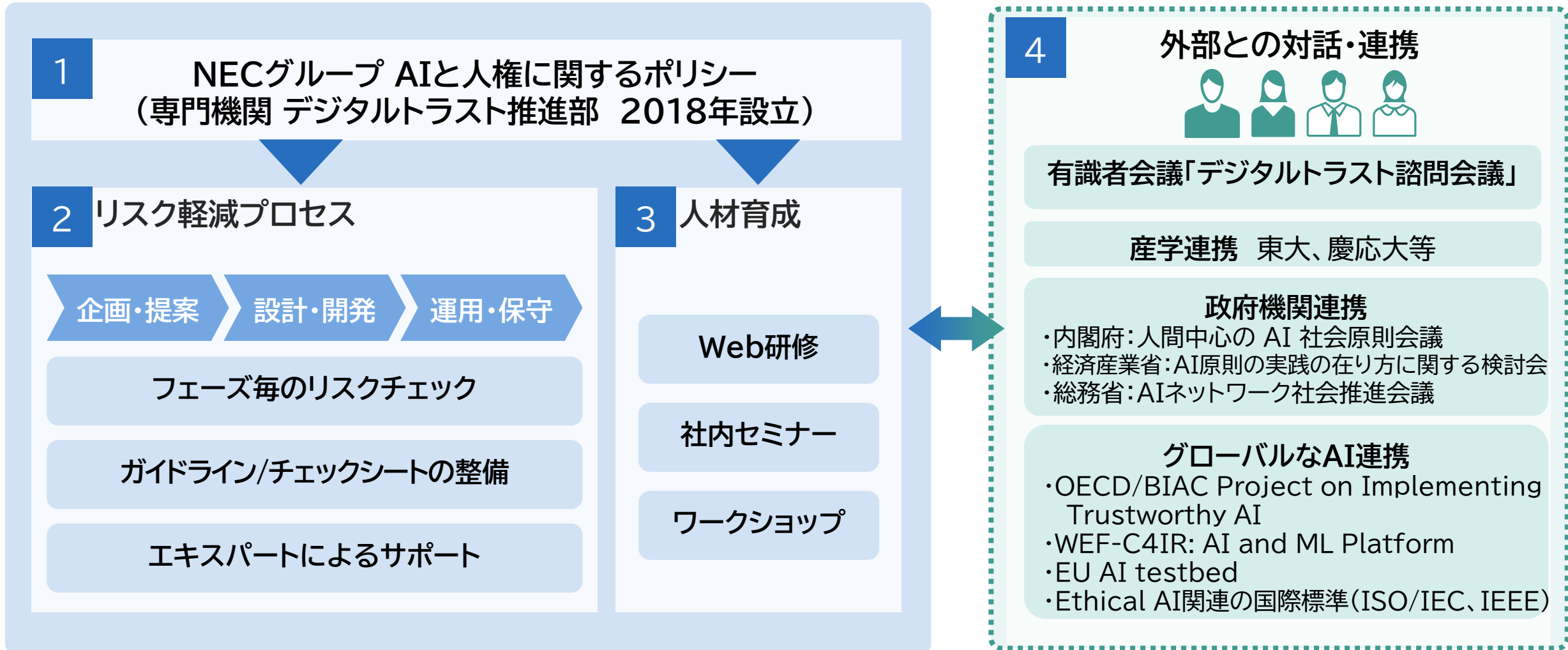
- ・専門性の高いメンバーを専門組織に集め組織的にAIプロジェクトを遂行
- ・専門組織で構築したAIを各部門で活用

成熟期

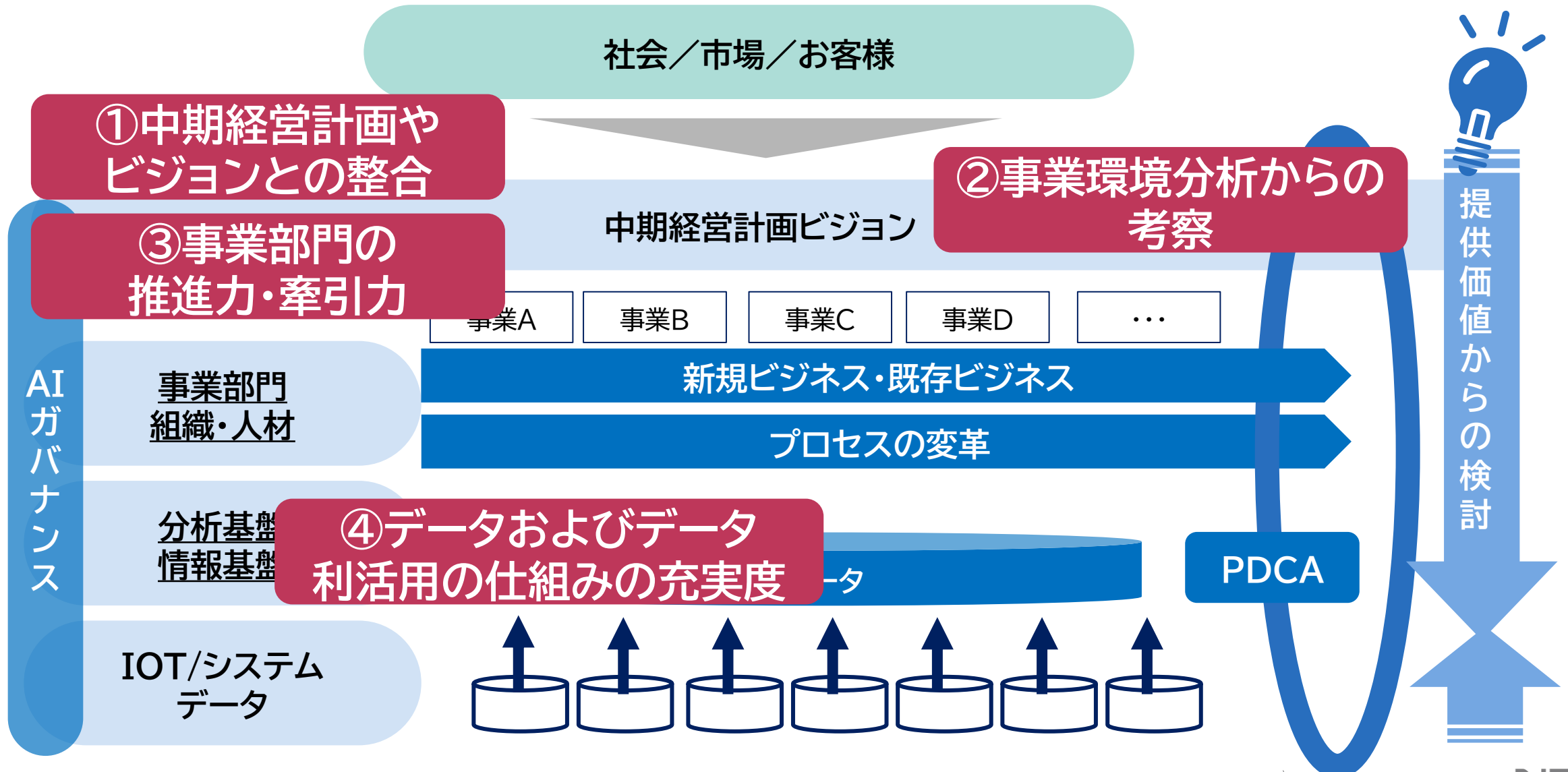


- ・それぞれの部門でAI活用が進むように専門性の高いメンバーを各部門に配置
- ・専門組織は技術フォローやアドバイザーとして機能

議論例③. AIガバナンスの取り組み(NECの事例)



AIを理解した上で、ビジネスからAIを俯瞰する「視点の転換」



「融合していく」ことで、AIは生活に浸透していきます
誰もがAIを活用しますが、AIが「主語」ではない世界



Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

\Orchestrating a brighter world

NEC